

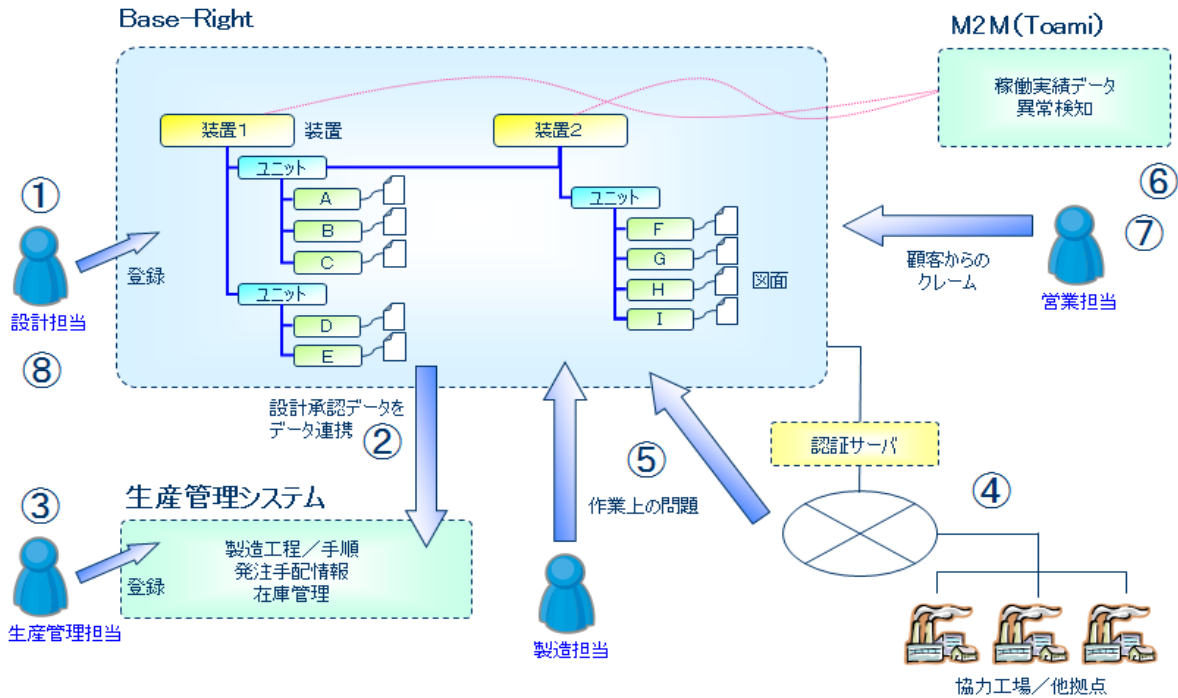
※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	<p><b>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	Base-Right (設計情報/技術情報管理システム)			
候補者	ヒノ アキラ	他 名	企業名/学校名	ニッポンシステムウエア	
	日野 暁		団体名/個人名	日本システムウエア株式会社	
企業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 大企業	所在地	(都道府県)	開発形態	<input checked="" type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input type="checkbox"/> 中小企業		東京都	<input type="checkbox"/> 新規開発	
	<input type="checkbox"/> 学生			開発費用	<input checked="" type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> その他 ( )			<input type="checkbox"/> 円	

<b>ツールのPRポイント</b>	
<p><b>◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内</b></p> <p>顧客毎の製品仕様や、製品を構成する部品/部材情報、設計図面、製作指示情報等を一元的に管理することが可能。生産現場で発生した課題や顧客からのクレーム情報を付与することで、次製品の開発に活用可能。また、IoT(M2M)で取得した情報を登録することで、修理対象部品の絞り込みや、不良率の集計が可能。</p>	
<p><b>◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)</b></p> <p>◎クライアントライセンスフリー        サーバライセンス(定価300万円)の購入で、ユーザーは何名でも利用可能</p> <p>◎豊富な設定メニュー        専用の設定画面を利用することで、運用に合わせた管理用のデータベースを、ノンプログラミングで構築可能。</p> <p>◎多角的な導入効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・的確なキーワード検索により、過去の図面、製品情報、品質情報を瞬時に取得</li> <li>・生産現場、機器類(M2M)、お客様からの情報を、設計情報にフィードバックすることによる品質工場</li> <li>・情報共有化による次世代への技術伝承</li> <li>・ペーパーレス推進による環境負荷軽減と保管スペースの縮小を実現</li> </ul>	
<p><b>◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)</b></p> <p>①設計、生産管理業務の効率化と作業品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計開発情報の一元化による設計業務の効率化と設計品質の向上。</li> <li>・設計側からの製品情報を電子的に取得することによる生産管理業務効率化と、手作業による二重登録作業削減による、ミス、漏れの撲滅。</li> </ul> <p>②コスト削減と製品品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他製品や過去の設計情報(部品/図面)の流用率を向上させ、同一部品のまとめ発注による手配単価削減と、テスト/検査済部品を利用することによる品質向上、リードタイム削減</li> </ul> <p>③技術伝承率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験豊富なベテラン設計者の情報を共有することで、高く広い技術伝承が可能</li> </ul> <p>④強固なセキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録データの状態、種別毎に、ユーザの権限に応じ、参照、更新、削除の権限設定が可能。ログインにはパスワードが必須。</li> </ul>	
<p><b>◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内</b></p> <p><b>【情報登録】</b></p> <p>① 専用の登録画面を起動し、製品、部品、図面、文書を管理、検索するためのキーワードを記入</p> <p>② ①の画面に関連づけたいファイル(データ)をドラッグ&amp;ドロップ操作で追加</p> <p><b>【情報検索/参照】</b></p> <p>① 専用の検索画面を起動し、検索キーワードを入力する</p> <p>② 検索結果リストの一覧表示から対象の行を選択し、情報を参照(ファイルをロード、起動)する</p> <p><b>【情報関連づけ】</b></p> <p>① 親となる登録画面を表示する</p> <p>② ①の画面に、登録画面や検索結果リストから子としたい情報をドラッグ&amp;ドロップ操作で追加</p>	
<p>記載事項チェック欄</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 印刷時に枠内に文字が収まっているか。</p>	

【導入事例】

- ①設計担当は、各種装置に関する製品仕様、部品構成、図面、技術文書を登録する
- ②設計部門で承認された情報は、生産管理システムに転送される
- ③生産管理担当は、手配先情報や、製造指示情報を登録する
- ④協力工場/他拠点は、図面等必要な情報を電子的に取得、活用する
- ⑤製造担当や協力工場から、作業上の問題をフィードバックする
- ⑥納品された装置からの情報が設計情報にフィードバックされる
- ⑦顧客からのクレーム情報を営業担当を通じて設計情報にフィードバックする
- ⑧設計担当は、メンテナンス設計や、新製品の開発に、フィードバック情報を利用する



記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類  
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

PDM 製品／設計／技術情報管理システム 『Base-Right』

ひとことPRコメント(15文字以内)

手軽にPDMシステムを構築！

参考Webページ(URL)

<http://www.nsw.co.jp/solution/detail.html?ssid=base-right>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	日本システムウェア株式会社 ITソリューション事業本部 営業統括部
住所	〒150-8577 東京都渋谷区桜丘町31-11
電話番号	03-3770-0095
メール	<a href="mailto:digitell@gw.nsw.co.jp">digitell@gw.nsw.co.jp</a>
ホームページ	<a href="http://www.nsw.co.jp/">http://www.nsw.co.jp/</a>
担当者名	尾崎諒介(おざきりょうすけ)／石塚慎也(いしづかしんや)